



七生福祉園だより



しんねんど むか
新年度を迎えて

第 266 号 令和元年 6 月 16 日

七生福祉園は、児童施設と成人施設を併せて約 300 名の利用者の方々が生活する東京都の施設です。園の運営は、東京都社会福祉事業団が、東京都から指定管理者としての指定を受けて行い、今年度は、第 5 期指定管理期間（2018 年 4 月から 2021 年 3 月までの 3 年間）の 2 年目の年にあたります。

現在、児童施設では、被虐待等の理由で、児童相談所の措置により入所する児童が全体の 7 割近くを占め、また成人施設では、65 歳以上の利用者が全体の 3 分の 1、障害支援区分が 5 または 6 である利用者が全体の 6 割を占めるなど、高齢化、重度化が進んでいます。

今年度は、こうした状況を踏まえ、利用者の皆様一人ひとりの人格と個性を尊重し、個別の状況に応じた、よりきめ細かい支援を行うとともに、皆様が安全で安心して日常生活や社会生活を送ることができるよう、適切なサービスの提供を支えるための基盤となる人材の確保・育成、権利擁護の取組強化、感染症・防災対策などのリスクマネジメントの徹底、暮らしやすい生活環境の整備などに重点的に取り組んでまいります。

園の運営方針は以下のとおりですが、今後とも、運営体制の充実強化を図りながら、職員一丸となって、利用者サービスの一層の向上に努めてまいります。引き続き、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【園長・多田菜穂】

れいわがんねんど
令和元年度
運営方針



利用者の皆様一人ひとりが安全で安心して生活を送ることができるよう、人権を尊重した支援や安全な生活環境の整備等を進めていきます。

- 利用者本位のサービスの徹底**
園内外の専門職と連携を図り、一人ひとりの特性を踏まえた入所支援計画・個別支援計画を作成し、利用者本位で、専門的、良質かつ適切なサービスを提供します。
- 公的な役割の強化**
特別な支援が必要な利用者を積極的に受け入れるなど、都立施設が担ってきた公的な役割を強化します。
- 地域福祉の向上**
地域の多様な主体と連携・協力し、地域福祉の向上に貢献します。
- 地域生活移行等の推進**
障害者の地域における生活を支援するため、保護者や関係機関の理解と協力を得て、利用者の地域生活移行等に積極的に取り組みます。
- 運営体制の充実強化**
人材の確保・育成、リスクマネジメントの徹底、生活環境の整備、施設の効率的な運営等、適切なサービス提供を支えるための基盤である運営体制の充実強化を図ります。

Jobサポート活動紹介

皆さん、ハーバリウムをご存知ですか。『植物標本』という意味ですが、ドライフラワーにした花をオイルに入れたもので、光にかざすととてもきれいです。

Jobサポートでは活動の中で園内にある数か所の花壇整備に取り組んでいます。咲いた花をたのしんでいただくだけでなく、育てた花を新しい形で楽しんでいただけます。豊田駅北ロショップ「わーく・わーく」で販売をしていますので、ぜひご覧ください。



東京都七生特別支援学校運動会



5月25日に中等部、高等部の運動会がありました。5月としては暑いほどの晴天に恵まれ、とても良い運動会日和になりました。寮で普段見せている姿とは違い緊張している様子でしたが、一生懸命な姿を見ることができました。練習した成果、昨年よりも一回り、二回りも成長した姿が見ることができ感動的な運動会でした。

6月1日、小学部の運動会も大変良い天気となり、それぞれの学年でのびのびと活躍する児童の姿を見ることができました。進級、進学を経て

去年よりもさらに立派に活躍する子どもたち。帰ってくると「悔しかった!」「楽しかった!」「来年も頑張る!」と色々な表情で振り返り、大いに盛り上がりました。

日中保育 遠足

5月29日、池袋サンシャイン水族館へ遠足に行ってきました。園のマイクロバスに乗って車内からは沢山の車を見ながら、子どもたちはとても楽しみに向かいました。水族館では色鮮やかな綺麗な魚、大きなエイやマンボウに驚き、クラゲの水槽に目を奪われながら天井からのライトに両手を広げて喜んでいました。屋外エリアではカワソウがハンモックで遊んでいる姿やペンギンや大きなアシカが優雅に泳いでいる姿を間近で見ることができました。昼食は児童調理の方々が朝早くより、とても素敵なお弁当を作って下さり、子どもたちは「美味しいね。」と大喜びで完食していました。



成人支援部門お花見会

4月3日、風が吹きやや肌寒いなか、成人支援部門の新年度を迎えるにあたっての恒例行事であるお花見会がひいらぎ寮横の調整池にて行われました。今年も桜が満開な中での開催となりました。園長の乾杯のお音頭から始まったお花見会。おいしいお弁当を食べていると、陽ざしも出て来て徐々に温かくなってきました。食後には新入職員の方々からの挨拶、自己紹介と合わせ異動職員の紹介がありました。

その後はみなさんお待ちかねのカラオケ大会♪今年はステージから離れている寮は移動が大変なため、昼食を食べた場所で歌ってもらいました。皆さん歌ったり、踊ったりと楽しまれていました。



地域支援グループ グループホーム「あおば」のホームパーティー



元号も令和に替わり、長すぎるゴールデンウィークを楽しく過ごせるよう、5月2日に普段お世話になっている移動支援事業所のガイドヘルパーの方を招き「あおばホームパーティー」を開催しました。焼きそば、牛肉、ウインナー、野菜などをキッチンやホットプレートなどで調理し美味しい物を一杯食べ、楽しい時間を過ごしました。



保育士等実習生オリエンテーションの実施

4月26日、5月から6月に施設実習を行う実習生向けにオリエンテーションを開催しました。園の概要説明や、実習に際しての注意事項など説明した後、各部門に分かれて施設見学を行いました。実習生の皆さんは、少しずつ緊張が取れてきたのか、見学中に利用者の皆さんと笑顔で接する場面もありました。当園では、より多くの方たちが実習を通して様々なことを安心して学び、良き支援者となっていだけるよう、年間を通じて実習生の積極的な受入れを行っています。



利用者の安全確保（成人寮トイレ床改修工事）

昨年度末に、つばき寮のトイレ床の改修工事を実施しました。改修前の床はタイル張りでしたが、利用者の安全を考え、滑りにくい素材の塩化ビニール長尺シートに変更しました。見た目の清潔感も増し、清掃もしやすくなりました。

改修前



改修後



「食中毒予防強化期間」

食中毒は一年を通して発生する危険がありますが、七生福祉園では、気温が高く特に注意が必要な6月から9月までを、毎年「食中毒予防強化期間」と定め、園をあげて食中毒予防のための取組を行っています。

今年も期間中に、利用者の皆様や寮職員への手洗い練習、調理施設や食堂での拭き取りによる細菌検査、ポスター掲示や園内放送を実施します。

また、保護者の皆様には、面会時の食品の持ち込みについてご遠慮いただくなど、ご協力もお願いしていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

これからも安全でおいしい食事をお届けするため、園全体での取組を充実させていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

ねっちゅうしょう 熱中症について



熱中症とは、高温多湿の環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調節機能がうまく働かないことにより、体内に熱がたまり、筋肉痛や大量の発汗、さらには吐き気や倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害などが起こります。

気温が高い、湿度が高いなどの環境条件と体調が良くない、暑さに体がまだ慣れていないなどの個人の体調による影響が組み合わさることにより、熱中症の発生が高まります。屋外で活動しているときだけでなく、就寝中に室内で熱中症を発症することもあります。

熱中症の予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です。

- ◆ のどの渇きを感じなくても、こまめに水分補給をしましょう。
- ◆ こまめな体温測定や通気性の良い、吸湿・速乾の衣服を着用しましょう。
- ◆ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどにより体を冷却しましょう。
- ◆ 扇風機やエアコンを使って、温度調整をしましょう。
- ◆ 外出時は日傘や帽子を着用し、日差しを避けましょう。
- ◆ 日陰を利用し、こまめに休憩をとりましょう。



熱中症が疑われる場合は、次のような応急処置を行いましょう。

- ◆ 風通しの良い日陰や、クーラーが効いている室内に移動させます。
- ◆ 衣類を脱がせて、体内の熱を外に出します。氷嚢などで首や脇の下、太もものつけ根を冷やし、体温を下げます。
- ◆ 水分、塩分も同時に補える経口補水液やスポーツ飲料を飲ませます。ただし、意識障害、吐き気や嘔吐の症状がある場合は、口から水分をいれることは避けます。

熱中症を疑う症状があり、意識がない、または呼びかけに対する返事がおかしい場合は、直ぐに救急車を呼びましょう。熱中症は、適切な予防をすれば防ぐことができます。熱中症になった場合も、適切な処置により救命することができます。一人ひとりが、熱中症の正しい知識をもち、自分の体調の変化に気をつけるとともに、周囲の人にも気を配り、予防を呼びかけ合って、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

<組織図>

